成田市消防団

地域の安全・安心を守る

地域に密着した消防団員の活動は、災害に強い安全なまちづくりの実現のために、重要な役割を担っています。

災害初動対応の訓練

消防団員とは

火災が起きたとき、消防車で駆け付ける消防職員と消防団員。皆さんはその違いを知っていますか。

消防職員は消防署に勤務する専門職員です。一方、消防団員は主に地域に住む人たちで、日頃はそれぞれの職業を持って働いています。そして火災などが発生した際に、自宅や職場から災害現場へ駆け付け、消火・救助活動などを行います。地域における防災リーダーとして「自分たちのまちは、自分たちで守る」という使命感の下、重要な役割を担っているといえます。

この地域住民で構成されている地域防災の要が消防団です。

消防団の構成

11月1日現在、成田市消防団は12分団95カ部で構成され、1、444人の団員が活動しています。

消防団の装備には、水槽付き消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車19台、小型動力ポンプ付き積載車74台の車両を配備しています。

消防団の活動

消防団は、災害が発生した際の現場での消火活動をはじめ、人命救助や避難誘導など、さまざまな場面で活動します。

災害が発生していないときでも火災の発生を未然に防ぐため、火災予防の広報活動などを行い、地域の防災意識の向上を図る活動をしています。

その主なものは、次の通りです。

災害時の活動

- ○火災の消火活動や支援など
- ○火災鎮火後の警戒
- ○風水害(台風・集中豪雨・洪水)などへの警戒

災害時以外の活動

- ○地域住民の防災意識を高めるための啓発活動
- ○夜警など年間を通しての警戒活動
- ○消火活動や人命救助の訓練
- ○出動に備えた機械・器具の点検・整備

※くわしくは消防総務課(☎20-1590)へ。

あなたも地域防災のリーダーになりませんか

成田市消防団では、地域を守る消防団員を募集しています。市内在住・在勤・在学の18歳以上で、熱意のある健康な人なら誰でも入団できます。団員には活動服が貸与されるほか、年間報酬や出勤した際の手当などが支給されます。

活動に興味を持った人は、消防総務課(☎20-1590)へ問い合わせてください。

女性消防団にも新しい力が

平成29年4月1日に消防団女性部が発足し、地域防災力のさらなる向上を目標に掲げ活動をしています。

今年10月には、国際医療福祉大学医学部医学科の1年生4人が新たに団員となりました。女性部は主に、住民に対する救急講習の指導や火災予防啓発活動を行います。

新団員にインタビュー

国際医療福祉大学
医学部医学科1年
澁谷(しぶたに) 友梨(ゆうり)さん

女性消防団員を募集していると聞き、医療と消防の架け橋になりたいと思い入団を決意しました。消防団員と医師には人の命に携わるという共通点があります。消防団の活動を通して学んだことを、医師になった時に生かしていきたいと思っています。